

No	施策名	事務事業の目的	H28決算額(円)		事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成29年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成30年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名							
	事務事業名		内 人件費	2	評価責任者氏名							
			H29決算額(円)		3	妥当性評価						
			内 直接事業費	4	有効性評価							
		内 人件費	5	効率性評価								
1	交通基盤の整備	伊勢湾口道路をはじめとして、幹線道路等の渥美半島での必要性の認識を高め、地元・関係機関と相互に協力、調整をとりながら整備の早期実現を図る。	23,035,069		事務事業評価					・広域幹線道路の現状を把握するため、調査・研究としての研修会や現地視察を実施する。 ・関係市町、関係機関、市内関係部署との連携をより密にし、広域幹線道路の早期整備に向けた計画確立が課題。	各種協議会・期成同盟会等により、国・県等に早期整備の要望を行った。	渥美半島における広域幹線道路について、研究を重点的に行うと共に、その他各種協議会・期成同盟会の活動等により、国・県等への要望活動を行い早期実現を目指す。
	40101010		5,468,067	1	建設部 建設企画課							
	広域幹線道路整備促進事業		17,567,002	2	村上 知成							
			36,317,771	3	極めて高い							
			2,666,056	4	極めて高い							
		33,651,715	5	普通	改善の効果	高い						
2	交通基盤の整備	市民生活や産業活動において重要な都市基盤である市内幹線道路の道路交通における利便性、安全性、快適性等の向上を図るため計画的な整備を行う。	102,602,339		事務事業評価					交通量が多く交通弱者安全確保が急務である1・2級市道において国庫補助を活用しながら集中的・計画的に道路改良を推進する必要がある。また、田原市健康都市プログラムの基本方針「街の健康」の基幹的事業として「楽しく歩ける道づくり」による人の健康を支え、守る効果が期待されている。	3路線の整備路線について集中的に整備進捗を図った結果、1路線は整備完了したことにより、全面共用開始し、更に1路線は新たに歩道を延伸し、一部の供用を開始した。	平成28年度に策定した田原市道路整備プログラムに基づき整備対象路線の優先路線を可能な限り国庫補助を活用し計画的に整備する。
	40102010		80,413,359	1	建設部 建設企画課							
	幹線道路整備事業		22,188,980	2	村上 知成							
			96,491,913	3	極めて高い							
			63,622,790	4	極めて高い							
		32,869,123	5	高い	改善の効果	極めて高い						
3	交通基盤の整備	老朽化した橋りょうや河川の改修に伴う橋りょうの改修を行い、地域の道路網の安全性・信頼性を確保する。	53,739,158		事務事業評価					道路・河川の拡幅整備に伴い、また、橋りょうの老朽化の対応も併せ、橋りょうの架け替えが必要となる。迂回路や整備ヤードについて、関係者と調整を要する。	老朽化した橋りょうの架け替えを行い、地域の道路網の安全性を確保した。	橋りょう整備に伴う、迂回路、整備期間について、関係者と綿密に調整を行うことにより、交通の混乱を避けながら計画的な事業の進捗を図る。
	40102020		43,233,480	1	建設部 建設企画課							
	橋りょう整備事業		10,505,678	2	村上 知成							
			34,648,761	3	極めて高い							
			29,561,800	4	極めて高い							
		5,086,961	5	高い	改善の効果	極めて高い						
4	交通基盤の整備	愛知県が実施する公共事業に必要な事業用地の円滑な取得を図る。	4,902,162		事務事業評価					事業用地の円滑な取得を図るため県用地課と連携を強化し、交渉期間の短縮を図る。県の用地取得予算の確保が困難であり事業間で調整することで予算執行できるようにする。	事業間の調整等について、県用地課と連携を強化して当初予算分の予算執行ができた。	県用地課との連携を強化することにより主要地方道豊橋渥美線、都市計画道路田原中央線等における事業用地の円滑な取得を図る。県の用地取得予算の確保と事業間での調整がスムーズに執行できるようにする。
	40102030		317,116	1	建設部 建設企画課							
	事業用地取得事務(国県道)		4,585,046	2	村上 知成							
			5,523,696	3	高い							
			3,240,034	4	高い							
		2,283,662	5	普通	改善の効果	普通						
5	交通基盤の整備	安心・安全な生活環境の改善を図るため、地域からの要望をもとに、緊急性、事業効果等を考慮して必要性の高い生活道路から整備を行う。	266,506,418		事務事業評価					地域からの多くの改良要望需要に対し適切な評価に基づく計画的な対応が必要となっている。また、田原市健康都市プログラムの基本方針「街の健康」の基幹的事業として「楽しく歩ける道づくり」による人の健康を支え、守る効果が期待されている。	有効に財源を活用し、事業進捗を図った。また、緊急車両の円滑な通行や防災・減災など新たな社会事情を鑑み、生活道路の整備を行い、生活環境の改善を図った。	地域からの要望について、整備優先順位の評価基準に基づき優先度を検証し、計画性を高めた投資と効果の早期発現を目標に、予算規模と整合を図った計画立案を行う。
	40103010		237,907,164	1	建設部 建設企画課							
	道路改良事業		28,599,254	2	村上 知成							
			212,480,576	3	極めて高い							
			197,201,914	4	極めて高い							
		15,278,662	5	普通	改善の効果	極めて高い						
6	交通基盤の整備	歩行者・自転車等利用者の安全確保、歩行者・自転車空間の快適性の向上及び円滑な自転車交通の確保を図るため、歩道設置等の交通安全施設整備を行う。	111,284,273		事務事業評価					歩道の未整備路線や自転車通行における事故防止等対策について、自歩道等設置拡幅に重点的な投資が必要である。	未整備となっている通学路整備の設計を行なった。また、交差点改良、路面標示により、通行の安全性を高め、円滑な交通を実現した。	交通安全プログラムの早期実行により、通学路の安全確保に努める。 ・法改正に伴う自転車乗用環境整備の見直しが進められる中、自転車通学路の整備の必要性を検証することを含め自転車ネットワーク計画策定を推進する。
	40103020		95,582,802	1	建設部 建設企画課							
	交通安全施設整備事業		15,701,471	2	村上 知成							
			82,807,995	3	極めて高い							
			68,375,019	4	極めて高い							
		14,432,976	5	普通	改善の効果	極めて高い						
7	交通基盤の整備	道路交通の安全確保及び快適性の向上を図るため、未舗装道路の舗装新設及び老朽化した道路の舗装改築を行う。	37,374,181		事務事業評価					舗装設計期間10年を大幅に超えた多くの昭和年代築造道路は、交通量にかかわらず経年劣化・老朽化が著しく、大幅な改修を必要とする路線が多くなっている。1級市道は路面性状調査の結果を受け、19路線の舗装改修が必要である。	1級市道の快適性向上に向けて取り組んだ点検・改修計画に基づき、国庫補助を充てて重点的に整備を進めた。	市民アンケートや校区意見交換会からの意見を反映し、生活道路の機能保全や快適性・景観性の向上など、これまでより比重を大きくして取り組む。
	40103030		35,228,520	1	建設部 建設企画課							
	道路舗装事業		2,145,661	2	村上 知成							
			29,163,960	3	極めて高い							
			23,855,120	4	極めて高い							
		5,308,840	5	極めて高い	改善の効果	極めて高い						

No	施策名	事務事業の目的	H28決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成29年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成30年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名	内 人件費	2 評価責任者氏名	H29決算額(円)	3 妥当性評価			
8	交通基盤の整備	安心・安全な生活環境の改善を図るため、道路の排水改良等の局所的な整備を行う。	9,976,717	事務事業評価					排水施設の老朽化に伴う改修や沿道利用用途の経年変化に伴う改良など多くの要望が出され期待されている。なお、田原市健康都市プログラムの基本方針「街の健康」の基幹的事業として「楽しく歩ける道づくり」による人の健康を支え、守る効果も期待されている。	校区要望に上げられた複数の要改善箇所の実現に取り組んだ。	市民アンケートや校区意見交換会からの意見を反映し、生活道路の機能保全や快適性・景観性の向上など、これまでより比重を大きく取り組む。
	40103040		7,801,920	1 建設部 建設企画課	2,174,797	2 村上 知成	16,248,257	3 極めて高い			
	道路局部改良事業		13,281,840	4 高い	2,966,417	5 普通					
9	交通基盤の整備	災害時の避難及び救急活動に支障をきたす恐れのある道路について、建物の建設時にセットバックした部分を取得して狹隘道路の解消を図る。	11,390,359	事務事業評価					平成25年度に要綱改正をしたことで、迅速に対応できるような事務体制となり、事務の効率性は向上したが、申請件数がそれほど増加していない。	測量士、土地家屋調査士等の関係者に制度の周知を行い、制度活用者の増加に努めた。	引き続き利用者にとって使いやすい事業体制になるよう関係者の声を集め、場合によっては要綱の見直しの検討を行う。また、引き続き制度の周知を続ける。
	40103050		7,905,905	1 建設部 維持管理課	3,484,454	2 大谷 勲	8,072,099	3 極めて高い			
	狹隘道路解消事業		5,339,181	4 極めて高い	2,732,918	5 普通					
10	交通基盤の整備	公有地境界を整理することで行政の管理区域が明確となり、境界付近でのトラブルの解消を図る。	13,428,724	事務事業評価					公共用地と民地との境界を測量し、管理区域を明確化することにより、境界トラブルの解消を図ることを目的としているが、用地測量、登記等に多大な時間が必要である。	公共囀託への測量委託を行うことにより、事務の時間が短縮されたため、住民の迅速な対応ができ、一定の成果が出ている。	トラブルを未然に防ぐことはもとより、境界トラブルの解消について、より迅速に対応できるような事務体制を検討する。
	40104010		9,129,776	1 建設部 維持管理課	4,298,948	2 大谷 勲	17,543,415	3 高い			
	公有地境界確認事務		14,102,704	4 高い	3,440,711	5 普通					
11	交通基盤の整備	道路法において、市道の管理は市が行うと定められており、これに基づいて道路の良好な環境と安全確保に努める。	89,458,002	事務事業評価					常時健全な道路環境を維持するため、老朽化している道路ストックの点検及び計画修繕の実施が課題である。	老朽化している道路照明灯について、照明灯具をLED化し、直接管理からリースへと管理方法を変更することにより電気料金の削減と環境負荷の低減に努めた。	道路ストックの総点検実施及び道路維持修繕計画策定により、要修繕箇所の早期発見、早期対応に努め、健全な道路環境を維持する。道路照明灯のリース化LED化により維持管理コストの軽減と環境負荷の低減に繋げる。
	40104020		69,065,142	1 建設部 維持管理課	20,392,860	2 大谷 勲	185,323,205	3 極めて高い			
	道路管理事務		158,460,111	4 高い	26,863,094	5 高い					
12	交通基盤の整備	公共用地の取得や売却等に伴う所有権移転登記等を行い適正な財産管理を図る。	7,297,956	事務事業評価					登記申請に際して、法務局から詳細な資料提出を要求されるため、平日頃から法務局との連携を密にし、業務のスムーズな進捗に努めている。また、専門的知識を要する案件、権利関係等に難題があるような事案については、知識や技術もなくスムーズな対応が出来ないため委託対応が必要である。	法務局との連絡を密にしたことにより登記官との円滑な関係を築くことができ、スムーズな登記申請や補正の対応ができた。	法務局との連絡を更に密にし、業務のスムーズな進捗に努める。また、専門的知識を要する案件、権利関係等に難題があるような案件については、委託をすることで早期解決及び業務の円滑な進捗を図る。
	40104030		93,657	1 建設部 建設企画課	7,204,299	2 村上 知成	7,018,650	3 高い			
	登記事務		68,230	4 普通	6,950,420	5 普通					
13	交通基盤の整備	市道及び公共用物(道路敷)の老朽化又は緊急を要する構造物の修繕及び主要幹線道路の草刈り等を実施し、交通の安全性・快適性の向上を図る。	222,135,770	事務事業評価					道路が経年劣化し、損傷箇所が増え、たびたび物損事故が発生している。事故を防ぐために危険箇所の早期発見が必要であるが、担当職員だけでは早期発見は難しい。	危険箇所を早期に発見するため、担当職員、道路パトロール員によるパトロールを実施した。通勤等において、危険箇所が確認された場合の連絡体制を職員に周知した結果、危険箇所が早期に確認できた。	危険箇所の早期発見のため、道路パトロール員を雇用し、パトロールを強化するとともに関係課及び地元自治会等との連携を図る。
	40104040		180,132,457	1 建設部 維持管理課	42,003,313	2 大谷 勲	197,644,638	3 高い			
	道路維持事業		157,575,494	4 高い	40,069,144	5 普通					
14	交通基盤の整備	市道及び公共用物(道路敷)の老朽化又は緊急を要する構造物の修繕及び主要幹線道路の草刈り等を実施し、交通の安全性・快適性の向上を図る。	58,328,062	事務事業評価					危険個所の早期発見のため、地域住民からの情報提供に対する初動体制の強化と道路パトロールの効率化が必要である。	市民からの情報や、パトロールで発見した危険個所の情報を課内で共有し、対策等の進捗状況を可視化するようにした。	集められた危険個所情報や修繕の実施内容を整理し、今後の施設改善等に利用していく。
	40104060		46,717,773	1 渥美支所 地域課	11,610,289	2 永井 守彦	46,211,172	3 高い			
	道路維持事業(渥美支所)		33,869,245	4 高い	12,341,927	5 普通					

No	施策名	事務事業の目的	H28決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成29年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成30年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名						
	事務事業名		H29決算額(円)	2	評価責任者氏名		3	妥当性評価			
			内 直接事業費	4	有効性評価		5	効率性評価			
			内 人件費	5	効率性評価						
15	交通基盤の整備	渥美半島の重要な交通結節点としての機能を有する三河田原駅周辺において、駅舎移転に対する支援、自動車交通の円滑化を図るための道路整備、ガーデンシティに相応しい機能と景観を兼ね備えた駅前広場整備、駅南地区を始めとする周辺地域の住環境整備等を行い、魅力ある田原市の玄関口とする。	119,549,065	事務事業評価					・平成25年度までに市道田原駅前通り線と市道田原駅南線は供用開始されており、平成26年度に鉄道移設、平成27年度にNTT地下ケーブルの移転及び平成28年度に建物移転補償が完了した。	平成29年度に事業完了。 関連事業は、田原地区まちづくり事業で実施。	
	40106030		113,292,938	1	都市整備部 街づくり推進課						
	田原駅周辺整備事業		6,256,127	2	小久保 智宏						
			39,053,299	3	高い						
		27,861,681	4	高い							
		11,191,618	5	普通							
16	交通基盤の整備	市営公共駐車場が便利かつ安全に利用できるように運営、維持管理し、コンパクトシティの実現、中心市街地の活性化に寄与するものとする。	25,366,332	事務事業評価					・幅広い方に便利かつ安全に利用していただくため、PRが必要である。 ・田原駅公共駐輪場の場外に駐輪する利用者がいるため、自転車の整理整頓や安全に利用していただくための指導の徹底が必要である。	・田原駅公共駐輪場を80台増設したことにより、整理することで駐輪場に収まるようになった。 ・田原駅公共駐輪場の場外駐輪をなくすように、引き続き指導や利用案内を徹底する。	
	40106050		21,273,181	1	都市整備部 街づくり推進課						
	公共駐車場管理運営事業		4,093,151	2	小久保 智宏						
			25,931,671	3	高い						
			21,403,064	4	高い						
		4,528,607	5	普通							
17	公共交通の整備	都市機能として、集落部と市街地及び市街地内における市民等の移動手段を確保するため、路線バスの補完路線としてコミュニティバスを運行する。	21,413,050	事務事業評価					・平成27年度の再編から生じた課題解決及び経費節減のため、平成29年4月から運行内容の変更を実施した。 ・路線カルテを作成し、関連校区コミュと運行状況等の情報を共有し、各校区コミュが利用促進の取組を実施した。	・コミュニティバスの運行内容について、費用対効果や効率性を踏まえて、地域と協働で抜本的な見直しを含めて協議し、変更を実施していく。	
	40201010		19,756,251	1	都市整備部 街づくり推進課						
	コミュニティバス運行事業		1,656,799	2	小久保 智宏						
			8,498,395	3	極めて高い						
			7,036,007	4	高い						
		1,462,388	5	普通							
18	公共交通の整備	市民等の移動手段を確保するため、市内公共交通の基幹路線である路線バス(伊良湖本線・支線)の運行を支援する。	38,731,119	事務事業評価					・中高生向けバンフレット、公共交通ガイドブックの作成・配布等の実施。 ・路線バス運行経費について補助を実施。 ・伊良湖岬バス停の利用環境改善に関する経費について補助を実施。	・運行事業者と協働で利用促進事業を実施し、利用人数の維持・増加を図りながら、運行確保を図る。	
	40201020		37,009,030	1	都市整備部 街づくり推進課						
	地方バス路線支援事業		1,722,089	2	小久保 智宏						
			36,224,234	3	極めて高い						
			35,131,040	4	高い						
		1,093,194	5	普通							
19	公共交通の整備	だれもが安心して移動できるまちを実現するため、関係者との連携により、市内公共交通の充実を図る。	146,415,514	事務事業評価					・平成27年度の再編から生じた課題解決及び経費節減のため、平成29年4月から運行内容の変更を実施した。 ・路線カルテを作成し、関連校区コミュと運行状況等の情報を共有し、各校区コミュが利用促進の取組を実施した。	・コミュニティバスの運行内容について、費用対効果や効率性を踏まえて、地域と協働で抜本的な見直しを含めて協議し、変更を実施していく。(平成31年10月目処)	
	40201030		130,972,472	1	都市整備部 街づくり推進課						
	公共交通推進事業		15,443,042	2	小久保 智宏						
			141,461,290	3	極めて高い						
			129,707,872	4	高い						
		11,753,418	5	普通							
20	港湾・河川・海岸の整備	港湾は、市民と海との貴重な接点となっており、近年のマリンレジャー等に対するニーズの高まりから市民に親しまれる開かれた港湾施設の適正な管理を図る。	14,031,880	事務事業評価					指定管理による港湾施設の良好な施設管理を行うことができた。また、樋門操作マニュアルを活用し、適切な管理体制、災害時に迅速な対応ができるよう努めた。	港湾維持修繕計画に基づき、老朽化した港湾施設の維持管理を行うとともに、港湾利用者が快適に施設を利用できるよう努める。 また、樋門操作については引き続き、職員と委託者との連携を密にし、災害時に迅速な対応ができるよう努める。	
	40301040		9,351,865	1	建設部 維持管理課						
	港湾管理事業		4,680,015	2	大谷 勲						
			19,597,296	3	高い						
			12,266,194	4	高い						
		7,331,102	5	普通							
21	港湾・河川・海岸の整備	排水能力不足による水害の発生を防ぐため、住民の生命・財産を守るうえで重要な河川を優先して整備する。	17,658,666	事務事業評価					多くの準用河川は断面容量が足りておらず、近年のゲリラ豪雨や大型台風による被害発生など整備の必要性は非常に高くなっている。	水害防止の取り組みとして1河川の改修設計を行った。また、河川の計画的な整備実施に向け、水害等発生区域の現状確認を行った。	主要地方道との交差河川について愛知県整備に連動して整備を進めるとともに、治水・防災対策としての河川改良を計画し事業推進する。なお、河川の計画的な整備実施に向けた基礎的データ整理を進め、今後の整備方針の確立に向けて取り組む。
	40302010		14,118,720	1	建設部 建設企画課						
	河川改良事業		3,539,946	2	村上 知成						
			10,533,938	3	極めて高い						
			5,436,180	4	高い						
		5,097,758	5	普通							

No	施策名	事務事業の目的	H28決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成29年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成30年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)	
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名	内 人件費	2	評価責任者氏名				H29決算額(円)
事務事業名				内 直接事業費	4	有効性評価	内 人件費		5	効率性評価		
22	港湾・河川・海岸の整備 40302020	大雨等による災害を未然に防ぐため、土水路及び断面不足の水路を新設及び改良することにより、排水機能の向上を図る。	55,875,973	事務事業評価					地域の要望を基に現場の状況を確認し的確な対策を講じる必要がある。	地域からの要望に応え、懸案の冠水被害の抜本的な改善対策の検討を進めると共に、小規模施設整備を推進し排水機能の改善に努めた。	台風などによる過去の被害箇所や地域からの要望を検証し、緊急度及び必要性の高い水害防止対策を推進する。なお、水路の計画的な整備実施に向けた基礎的データ整理を進め、今後の整備方針の確立に向けて取り組む。	
	42,125,885		1	建設部 建設企画課								
	13,750,088		2	村上 知成								
	33,415,731		3	極めて高い								
	24,669,351		4	高い								
	8,746,380	5	普通	改善の効果	極めて高い							
23	港湾・河川・海岸の整備 40303010	洪水、高潮等による水害を防止して河川が適正に利用され、流水の正常な機能を維持し、河川環境の整備と保全がされるようにこれを総合的に管理する。	55,837,993	事務事業評価					災害時に樋門操作を迅速に行なう体制作りが課題である。	樋門操作マニュアルを活用し、適切な管理体制、災害時に迅速な対応ができるよう努めた。	樋門操作については引き続き、職員と委託者との連携を密にし、災害時に迅速な対応ができるよう努める。	
	53,571,836		1	建設部 維持管理課								
	2,266,157		2	大谷 勲								
	1,979,488		3	高い								
	801,090		4	高い								
	1,178,398	5	普通	改善の効果	高い							
24	港湾・河川・海岸の整備 40303020	市管理河川及び排水路の護岸や法面等の修繕及び堆積した土砂の浚渫又は草刈り等を行い、災害を未然に防ぐとともに、河川環境の保全を図る。	34,492,210	事務事業評価					河川・排水路が経年劣化し、損傷箇所が増え、大雨時に浸水等の被害が発生している。被害を防ぐために危険箇所の早期発見が必要であるが、担当職員だけでは早期発見は難しい。	修繕箇所を早期に発見するため、担当職員以外、雨天時に道路維持嘱託員による河川パトロールを実施した。通勤等において、危険箇所が確認された場合の連絡体制を職員に周知した結果、危険箇所が早期に確認できた。	危険箇所の早期発見のため、河川パトロールを継続実施すると共に効率的な修繕のため、関係課及び地元自治会等との連携を図る。	
	27,978,732		1	建設部 維持管理課								
	6,513,478		2	大谷 勲								
	29,757,317		3	高い								
	22,916,872		4	高い								
	6,840,445	5	普通	改善の効果	高い							
25	港湾・河川・海岸の整備 40303040	市管理河川及び排水路の護岸や法面等の修繕及び堆積した土砂の浚渫又は草刈り等を行い、災害を未然に防ぐとともに、河川環境の保全を図る。	26,723,759	事務事業評価					危険箇所の早期発見のため、地域住民からの情報提供に対する初動体制の強化と道路パトロールの効率化が必要である。	市民からの情報や、パトロールで発見した危険箇所の情報を課内で共有し、対策等の進捗状況を可視化するようにした。	集められた危険箇所情報や修繕の実施内容を整理し、今後の施設改善等に利用していく。	
	20,916,360		1	渥美支所 地域課								
	5,807,399		2	永井 守彦								
	24,078,262		3	高い								
	17,597,520		4	高い								
	6,480,742	5	普通	改善の効果	普通							
26	港湾・河川・海岸の整備 40304010	津波、高潮などによる被害を防止するために樋門等の操作を地元と協力して行うとともに、海岸環境の整備保全に努め海岸の適正な利用が行われるように総合的に管理する。	9,022,049	事務事業評価					災害時に樋門操作を迅速に行なう体制作りが課題である。また、赤羽根ロコパークの利用者が快適に利用できるよう適正な維持管理が必要である。	樋門操作マニュアルを活用し、適切な管理体制、災害時に迅速な対応ができるよう努めた。また、赤羽根ロコパークについては、市嘱託員とシルバー人材センターで維持作業範囲を調整しながら行うことでコスト削減に努めた。	樋門操作については引き続き、職員と委託者との連携を密にし、災害時に迅速な対応ができるよう努める。竣工して10年が経つ赤羽根ロコパークについては管理体制を見直し、適正かつ効率的な維持管理を行う。	
	5,544,538		1	建設部 維持管理課								
	3,477,511		2	大谷 勲								
	7,948,152		3	高い								
	4,103,067		4	高い								
	3,845,085	5	高い	改善の効果	高い							
27	市街地の整備 40401010	うるおいと活力のあるガーデンシティを実現するため、都市計画法に基づき、まちづくりに関する各種調査や企画、調整及び決定手続を行う。	11,031,033	事務事業評価					平成28年3月に策定された田原市都市計画マスタープランに挙げられた事業について、実施の検討を行う必要がある。	田原市都市計画マスタープランに位置付けた市街地拡大の事業化に向けて、調査業務を実施し検討を行った。 立地適正化計画の策定に向けて、調査業務を実施し検討を行った。	市街地拡大事業は、長期的展望に立ちながら事業化に向けて、地元調整や市街化編入に向けた県との調整を行っている。 立地適正化計画は、平成30年度中の策定を目標として、策定委員会の運営や関係者調整を行っている。	
	2,975,813		1	都市整備部 街づくり推進課								
	8,055,220		2	小久保 智宏								
	22,786,480		3	極めて高い								
	11,127,874		4	高い								
	11,658,606	5	普通	改善の効果	高い							
28	市街地の整備 40402010	田原市の顔である田原地区中心市街地の魅力を高め、活性化を推進するため、市街地の整備・改善に関する事業等の検討を行うとともに、地域のまちづくりを担う人材等の育成に努める。	792,670,079	事務事業評価					田原市中心市街地活性化基本計画に基づき、平成28年度から5か年計画で市街地整備等事業に取り組んでいる。 円滑に事業を進めることにより「生活の拠点」「田原市の玄関口」としての機能再生を図る必要がある。	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)の活用により、まちなか広場施設建築工事や市道の道路改良工事、三河田原駅前増築工事等を実施した。	引き続き交付金の活用により、三河田原駅前工場跡地活用事業として、平成30年度に親子交流施設の建設を行い、平成31年度に供用開始を図る。また平成31、32年度において、ウォーキングトレイル修景工事、バリアフリー化、案内看板の設置等の整備を行い、事業完了を目指す。 田原駅周辺整備事業を統合。	
	773,876,379		1	都市整備部 街づくり推進課								
	18,793,700		2	小久保 智宏								
	129,458,847		3	高い								
	110,376,554		4	高い								
	19,082,293	5	普通	改善の効果	高い							

No	施策名	事務事業の目的	H28決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成29年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成30年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)		
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名								
	事務事業名		H29決算額(円)	2	評価責任者氏名								
			内 直接事業費	3	妥当性評価								
			内 人件費	4	有効性評価								
			内 人件費	5	効率性評価								
29	市街地の整備	田原市のサブ拠点として位置づけられている赤羽根地区の市街地において、住民の日常生活を支える商業、行政、福祉、医療、居住等の機能を高めて住み良いまちを実現する。	7,037,498	事務事業評価					赤羽根地区まちづくりビジョンの実現に向け、地域の赤羽根地区まちづくり推進委員会を主体としてまちづくり事業を進める必要がある。 赤羽根地区都市再生整備計画事業の内容を着実に実施する必要がある。	赤羽根地区まちづくり推進委員会の3部会において、それぞれ今後の活動内容を検討し、課題の抽出と整理を行った。	赤羽根地区まちづくりビジョンの実現向け、赤羽根地区まちづくり推進委員会を主体としてまちづくり事業を進めていく。 都市再生整備計画事業(H30~34)を土地区画整理事業の進捗に合わせて実施していく。		
	40402020		4,935,600	1	都市整備部 街づくり推進課								
			2,101,898	2	小久保 智宏								
	赤羽根地区まちづくり事業		6,625,509	3	高い								
			3,819,560	4	高い								
		2,805,949	5	普通									
30	市街地の整備	福江市街地のレクリエーションの場、生活環境及び安全性等都市機能の向上を図る都市公園等の整備を行う。また、拠点の市民館を中心に、地域の活性化を図るための検討及び施設整備を行う。	104,529,171	事務事業評価					平成26年度より、5か年計画で福江・清田地区の都市再生整備計画を立ち上げ、市街地拠点の1つとしてふさわしい、多彩な、にぎわいのあるまちづくりを目指しており、市民と協働で整備を進めて行く必要がある。	散策路、ポケットパーク、案内看板設置を行い、福江まちなかWALKの整備を実施した。 津波災害時避難案内看板整備も行い地域住民や来訪者に対して、安全で賑わいのある憩いの場を含めた交流の場を提供した。	平成30年度が5か年計画の最終年となり、残りの散策路整備等について、各路線のニーズに合わせた整備を行って、事業の完了を図る。		
	40402030		100,121,700	1	都市整備部 街づくり推進課								
			4,407,471	2	小久保 智宏								
	福江地区まちづくり事業		128,827,644	3	高い								
			118,442,011	4	高い								
		10,385,633	5	普通									
31	市街地の整備	市民協働による市街化区域の都市基盤の形成を行うにあたり、総合的かつ面的に整備する手法である土地区画整理事業を促進するため、田原市組合施行土地区画整理事業助成方針に基づき、現在施行中の浦片地区の健全な組合運営、計画中の地区の組合設立準備に対し支援を行う。	22,841,267	事務事業評価					浦片地区については、住宅用地は平成27年度に完売し、企業用地は11区画中、残り7区画となっている。組合の解散に向けて企業用地の販売が課題である。 赤羽根地区については、平成29年度末に組合が認可されたが、事業の円滑な実施のため、引き続き各種支援を行う必要がある。	企業立地推進室が行う企業誘致活動で企業用地のPR活動を行い、また組合役員と地元企業を直接訪問し営業活動を行った。 赤羽根地区の組合発足に向け、発起人会とともに設立準備を行い、年度末には組合が認可された。	浦片地区は、引き続き情報の収集・発信を行い、企業立地担当及び組合役員とともに積極的に企業誘致活動を行っている。 赤羽根地区は、組合設立後の事業進捗を図るため引き続き各種支援事業を行っていく。 市街地拡大候補地で地元調整を行っていく。		
	40403030		12,109,271	1	都市整備部 街づくり推進課								
			10,731,996	2	小久保 智宏								
	土地区画整理組合支援事業		19,334,104	3	高い								
			6,370,683	4	高い								
		12,963,421	5	高い									
32	地域・住環境の整備	農村の総合的な振興を図るため、農業生産基盤の整備を行う。また、これと関連をもつ農村の基礎的な生活環境の整備を総合的に実施し、活力と個性のある地域づくりを目指すため、道路、排水路、防災施設及び自然環境・生態系保全施設整備等を行う。	84,351,063	事務事業評価					大草・高松地区、東部地区において、防火水槽設置工事等を実施し、地域住民の安心安全、快適な生活環境を確保した。また、別財源を確保することにより、一部事業を推進することができた。	農地耕作条件改善事業等の活用により、事業の推進を図る。			
	40501010		72,493,049	1	産業振興部 農政課	地域住民にとって、かけがえのない豊かな自然を保全しながら、農業者及び農村居住者にとって住みよい居住環境への改善を図る必要がある。							
			11,858,014	2	鈴木 隆広								
	農村振興総合整備事業(40501010,40501014)		121,614,490	3	普通								
			106,981,094	4	普通								
		14,633,396	5	普通									
33	地域・住環境の整備	田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会の事業運営を支援し、海岸侵食対策、自然環境の保全と活用、農地の基盤整備、農村環境の改善などについて関係地域の総合的な課題解決を図る。	6,328,441	事務事業評価					情報誌「潮騒」を発行、県への要望活動、谷ノ口公園のPR、表浜自然ふれあいフェスティバルを開催し、海岸侵食が進む表浜の現状と自然の魅力やPRし、関係者の理解を得て整備促進を図った。	アクションプランに沿って、東部太平洋岸地域のつながりを深め、協議会と行政が一体となり継続して県への要望活動を行い整備促進を図る。 表浜自然ふれあいフェスティバルのあり方を検証し、リニューアルを図る。 平成29年4月に供用を開始した谷ノ口公園の活用促進のため、今後フェスティバルの開催拠点とする。			
	40502010		450,000	1	企画部 企画課	表浜自然ふれあいフェスティバルの開催支援、県への要望活動、谷ノ口総合整備促進協議会の活動支援を行なっている。 海岸整備促進につながる効果的な手法を検討する必要がある。							
			5,878,441	2	大羽 浩和								
	東部太平洋岸総合整備促進事業		3,555,872	3	高い								
			450,000	4	普通								
		3,105,872	5	普通									
34	地域・住環境の整備	少子高齢化・人口減少社会に対応した居住環境の整備を図るため、公的宅地の供給や空き家・空き地バンク制度の活用による市内への定住を誘導し、安全で住みやすいまちづくりを推進する。	11,739,809	事務事業評価					市内の空き家実態調査を実施。不良空き家が142件、利活用可能と思われる空き家が342件あることが判明。 空き家バンクの利用者登録数に対し、物件登録数が少なく、なかなか新規登録が増えない。 周辺に悪影響を与える不良空き家に対する体制整備ができていない。	固定資産税の納税通知書に空き家管理に関するチラシを同封し、空き家の適正管理のお願い、空き家バンク等の制度の周知を行った。 空き家所有者に対しアンケート調査を実施。上記の結果空き家バンク等への登録数が増加し、成約件数が増加している。	平成30年度に空家等対策協議会を組織、空家等対策計画を策定する。 利活用の推進のため不動産関係団体との連携を図り、空き家バンク制度の推進を図る。 不良空き家に対しては、特定空家認定基準を策定し、空家特措法に則った措置を実行できる体制を構築する。		
	40503010		4,809,138	1	都市整備部 建築課								
			6,930,671	2	稲垣 守泰								
	居住環境整備推進事業		11,682,174	3	高い								
			7,405,586	4	高い								
		4,276,588	5	普通									
35	地域・住環境の整備	住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な市営住宅を供給することにより、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。 特定公共賃貸住宅、若者向け住宅等良質な賃貸住宅を求める中堅所得者層に住宅の供給を図り、市民生活の向上を図る。 現に市営住宅に入居している市民の居住の安定と水準の向上を図る。	166,417,226	事務事業評価					仲瀬古住宅の外壁改修を始め浴室改修・水道メーター取替等、田原市公営住宅長寿命化計画に従い、計画的に住宅改修を実施した。 家賃滞納者には、督促状通知、戸別訪問、電話、文書による催告等を実施し、滞納額の縮減に努めた。	平成30年度に長寿命化計画の見直しを行い、施設の適切な管理、運営を行う。 家賃滞納者に対し、督促状による通知、また滞納者への戸別訪問、電話、文書による催告を実施し滞納額縮減に努める。 滞納者への法的措置も視野に入れ、納付指導を継続的に実施していく。			
	40503020		134,674,280	1	都市整備部 建築課	田原市公営住宅長寿命化計画に沿って、既存公営住宅等の改修を計画的に実施している。 家賃滞納については、常習者の期限内納付意識が低く、減少傾向には至っていない。							
			31,742,946	2	稲垣 守泰								
	市営住宅管理事業		147,802,834	3	高い								
			113,039,482	4	普通								
		34,763,352	5	普通									

No	施策名	事務事業の目的	H28決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成29年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成30年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名						
	事務事業名		内 人件費	2	評価責任者氏名						
			H29決算額(円)	3	妥当性評価						
			内 直接事業費	4	有効性評価						
内 人件費	5	効率性評価									
36	地域・住環境の整備 40503040	老朽化の著しい高木住宅の建替整備を行うことにより、低額所得者の居住に関するセーフティネットとして住環境の安定確保を図る。	1,858,704	事務事業評価					建替場所について、入居者(特に高齢者)の利便性向上を考慮し、清田校区内での建替整備を検討している。 耐用年数超過の状況にある現高木住宅入居者への転居支援を実施している。	地元の清田校区、地区自治会と建替整備に関して調整を実施した。 残り18件となった高木住宅入居者へ転居交渉を実施し、高額所得による明渡し1件、移転契約による転居5件、計6件の移転を完了した。	清田市民館北側市有地への建替について地元同意を得て事業を推進する。また、残り12件となった高木住宅入居者に早期転居を促す。 平成30年度から市営住宅管理事業に統合する。
	0		1	都市整備部 建築課							
	1,858,704		2	稲垣 守泰							
	5,490,100		3	高い							
	0		4	高い							
5,490,100	5	普通	改善の効果	普通							
37	地域・住環境の整備 40504010	田原市人にやさしい街づくり推進計画に沿い、高齢者及び障害を持つ人を含む全ての人にやさしい、バリアフリーの街づくりを推進することにより、高齢化社会の安心・安全なまちづくりを目指す。	3,981,035	事務事業評価					公共建築物のバリアフリー化は、概ね整備されている。 市民のバリアフリーについての意識は高齢化に伴って向上していると思われるが、まだ、充分ではない。	バリアフリー意識の向上のため東三河5市で連携し、人にやさしい街づくり講座及びセミナーを新城市で開催	中心市街地活性化基本計画のバリアフリー化推進事業により道路の改善・整備の実施。 5市連携人にやさしい街づくり講座及びセミナーを開催(平成30年度は田原市で開催) 人にやさしい街づくり推進計画改訂
	2,234,111		1	都市整備部 建築課							
	1,746,924		2	稲垣 守泰							
	4,511,049		3	普通							
	18,765		4	普通	改善の効果	普通					
4,492,284	5	普通	改善の効果	普通							
38	上下水道の整備 40601010	給水装置の新設及び改良に伴う配水管の新設及び改良工事の施工に対し、材料を支給することにより水道施設の充実を図る。	5,308,160	事務事業評価					水道新規加入等に伴い、配水管工事を必要とする場合には、本管材料を支給し、水道施設の充実を図る。	水道施設の充実を図るため水道新規加入者等が行う配水管工事に対し材料支給を実施した。	水道施設の充実を図るため、今後も本管材料の支給を行う。
	1,306,621		1	水道部 水道課							
	4,001,539		2	石原 恭次							
	11,783,262		3	高い							
	1,814,483		4	高い	改善の効果	普通					
9,968,779	5	普通	改善の効果	普通							
39	上下水道の整備 40601020	水道施設の維持・管理により安心、安全な水道水を安定的に供給する。	756,385,824	事務事業評価					水道施設の保守点検管理、水質検査を実施して、安全な水の安定供給を行う。 施設管理等の効率化を図るとともに、漏水に対して早期発見、修繕を行い有収率の向上を図る必要がある。	配水管等の漏水調査を実施し、漏水箇所の修繕を実施した。	施設管理等の一部業務委託を行うとともに、老朽管の改修・漏水調査の実施・漏水管の早期改修を実施し、有収率向上に向けた事業に引き続き取り組んでいく。
	737,295,526		1	水道部 水道課							
	19,090,298		2	石原 恭次							
	744,583,802		3	極めて高い							
	730,389,929		4	高い	改善の効果	高い					
14,193,873	5	普通	改善の効果	高い							
40	上下水道の整備 40601030	公共的団体が行う新設の配水管整備において、負担金を受けて市が施工することによって、施設の信頼性を高め適正管理につなげる。	137,290	事務事業評価					臨海企業団地や宅地造成事業区域等での配水管整備を図るとともに、計画に対する連絡調整を行う。	関係機関との連携に基づく事業の実施。	新規事業等に対して関係機関との連絡調整等を引き続き図る。
	8,440		1	水道部 水道課							
	128,850		2	石原 恭次							
	24,612,301		3	高い							
	22,901,940		4	高い	改善の効果	高い					
1,710,361	5	普通	改善の効果	高い							
41	上下水道の整備 40601040	安心、安全な水道水を安定的に供給するため、老朽管等の更新を図る。	846,097,866	事務事業評価					水道事業基本計画に従い基幹管路の耐震化及び老朽管の更新を行うとともに、道路整備事業との同時施工による工事の効率化及びコストの削減を実施した。	水道事業基本計画に従い基幹管路の耐震化及び老朽管の更新を行うとともに、道路整備事業との同時施工による工事の効率化及びコストの削減を実施した。	引き続き工事の効率化やコストの削減を図るとともに、水道事業基本計画を基に、施設の耐震化・更新・改良・統廃合等を進め、更新管路についても耐震化、ダウンサイジングを図りつつ、地区及び市全域での管路の整備を進める。
	823,679,246		1	水道部 水道課							
	22,418,620		2	石原 恭次							
	893,474,532		3	高い							
	879,410,644		4	高い	改善の効果	高い					
14,063,888	5	普通	改善の効果	高い							
42	上下水道の整備 40601060	緊急水源井戸の保守点検及び水質検査等施設の維持管理を行い異常漏水時の飲料水確保及び地震等災害時の家庭用雑用水確保を図る。	5,564,107	事務事業評価					非常時における飲料水等確保のため、緊急水源の維持管理を行う。 漏水時等における速やかな緊急対応の実施を図る。	適正な維持管理を行うとともに、漏水時において緊急水源として活用できるように施設の整備点検等を行った。	引き続き適正な維持管理を実施していく。
	1,879,846		1	水道部 水道課							
	3,684,261		2	石原 恭次							
	4,697,486		3	高い							
	1,679,526		4	高い	改善の効果	普通					
3,017,960	5	普通	改善の効果	普通							

No	施策名	事務事業の目的	H28決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成29年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成30年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名						
	事務事業名		内 人件費	2	評価責任者氏名						
			H29決算額(円)	3	妥当性評価						
			内 直接事業費	4	有効性評価						
	内 人件費	5	効率性評価								
43	上下水道の整備	事業運営に必要な費用を水道利用者から徴収し、水道事業の安定経営を図る。	77,463,364	事務事業評価					給水人口や使用量の減少、老朽化した設備更新など事業運営が厳しくなる中、収納率の向上及び業務の効率化を図る。	滞納者の常習化を防ぐ対策として、給水停止前に電話催告等を実施した。また、給水停止までのサイクルを見直し、業務の効率化及び収納率の向上を図った。	業務の民間委託等を検討するなど業務の効率化について取り組む。
	40602010		39,221,894	1	水道部 水道課						
	水道経営事務		38,241,470	2	石原 恭次						
			77,506,357	3	高い						
			35,596,431	4	高い						
41,909,926	5	高い									
改善の効果		普通									
44	上下水道の整備	安定した水道水確保のため、水道料金の一部を活用して水源林の保全を図る。	7,658,479	事務事業評価					水源林を確保するため、森林づくり事業、間伐事業に豊川水源基金に負担金を拠出する。	水源林の必要性について啓発、森林づくり、間伐事業の推進を図る。	負担金を拠出し、良好な水源林の確保を図った。
	40602020		7,650,139	1	水道部 水道課						
	水源林保全流域協働事業		8,340	2	石原 恭次						
			7,583,826	3	極めて高い						
			7,566,094	4	高い						
17,732	5	高い									
改善の効果		普通									
45	上下水道の整備	市街地等の住環境の整備とともに公共用水域の水質改善を図るため、田原処理区の下水道施設整備区域の拡大等事業推進を図る。	506,219,496	事務事業評価					・田原浄化センター及び田原中継ポンプ場の改築工事を行い、高度処理化・長寿命化を図る。 ・長沢・山田地区の管路整備を行い、供用開始面積の拡充を図る。 ・舗装本復旧の未施工箇所があるため、早期の完了を図る必要がある。 ・新規加入者に対しての公共ます設置	・田原中継ポンプ場の長寿命化工事を行った。 ・集落排水片浜地区の公共下水道への統合を図った。 ・長沢地区、山田地区の管路整備を行い、供用開始面積の拡大を図った。 ・新規加入者の申請に基づき公共ます設置	・田原浄化センター及び田原中継ポンプ場の改築・耐震工事を行い、高度処理化、長寿命化及び耐地震対策を行う。 ・集落排水吉胡・波瀬地区の公共下水道への統合を図る。 ・山田地区の舗装復旧を完了し、伊良湖処理区の整備について検討をする。 ・新規加入者の公共ます設置工事を実施する。
	40603030		487,073,500	1	水道部 下水道課						
	汚水処理施設整備事業		19,145,996	2	中神 嘉彦						
			366,628,974	3	極めて高い						
			353,517,400	4	極めて高い						
13,111,574	5	極めて高い									
改善の効果		極めて高い									
46	上下水道の整備	市街地の雨水を排除し浸水被害の防除を図るため、雨水ポンプ場、雨水幹線、雨水貯留施設等の雨水施設の整備を行う。	37,238,261	事務事業評価					・施設の老朽化対策として、長寿命化計画によるポンプ場の改築・更新を行う。 ・施設の耐震化(地震対策)を行う。	・中部ポンプ場の耐震化(地震対策)の実施設計を行い、工事实施に向けての取組を行った。 ・東部ポンプ場・中部ポンプ場の施設の老朽化対策として、長寿命化対策工事委託を行った。	・施設の長寿命化計画、耐震化(地震対策)計画に基づき、施設の改築・更新を実施していく。
	40603080		34,450,000	1	水道部 下水道課						
	雨水排水施設整備事業		2,788,261	2	中神 嘉彦						
			161,965,876	3	極めて高い						
			159,810,000	4	極めて高い						
2,155,876	5	極めて高い									
改善の効果		極めて高い									
47	上下水道の整備	公衆衛生の向上と水質保全を図るため、夕陽が浜汚水処理施設の維持管理を行う。	5,371,367	事務事業評価					宅地分譲が計画通りに進んでおらず、下水道使用料の増収が望める状況ではない。また、施設の老朽化による機器の更新及び改良が必要である。	設備機器の計画的な維持管理を実施し、施設の機能を保持できた。	機器等の老朽化が進んでいるため、計画的に修繕・工事等を行い、公共下水道への統合も検討し、維持管理経費の削減を図る。また、夕陽が浜宅地分譲の推進を建築課へ依頼する。
	40604010		4,403,224	1	水道部 下水道課						
	夕陽が浜汚水処理施設維持管理事業		968,143	2	中神 嘉彦						
			5,524,355	3	高い						
			5,160,880	4	高い						
363,475	5	高い									
改善の効果		高い									
48	上下水道の整備	・排水設備等資金の融資のあっせん及び利子補給を行うことにより、公共下水道への接続推進を図る。 ・公共下水道への接続で不用となる浄化槽を雨水貯留施設に転用する費用を補助することにより、水資源の有効活用や公共下水道の普及促進に寄与する。	103,671	事務事業評価					浄化槽が汚水を処理する施設であることから、洗浄しているとはいえ、そこに貯めた水を使うことに対して施主にとっては抵抗がある。また、浄化槽を転用して雨水貯留施設を設けたいと考えるほど庭面積が大きい家庭も多く、新規の申し込みが少ない。	新規供用開始対象者に制度の案内をし、利用の促進を図った。また、指定工事店にも制度について、接続時に制度の紹介をするよう依頼した。	市民へ広報やホームページ等により制度の周知を行い、浄化槽から転用した雨水貯留施設に対する抵抗感の払拭を図る。
	40604030		7,978	1	水道部 下水道課						
	雨水貯留施設等整備支援事業(公共下水)		95,693	2	中神 嘉彦						
			154,213	3	普通						
			98,294	4	普通						
55,919	5	普通									
改善の効果		普通									
49	上下水道の整備	公共下水道事業の適正かつ健全な運営を行う。	54,836,100	事務事業評価					負担金等や使用料の賦課徴収、排水設備の確認、決算統計、消費税申告等の経常的な業務を限られた人員で効率的に実施する必要がある。 また、人口減や施設の更新時期到来等に対し適切に対応するため、下水道事業における経営状況の把握が必要となる。	地方公営企業法の適用に向け、地方公営企業法適化支援業務において固定資産調査・評価、下水道台帳整備を進めるとともに、基本方針(案)を策定した。	地方公営企業法の適用により経営内容を明確化し、下水道事業経営の健全性を確保する。また、接続率の低い地域へ接続推進を図るとともに、適正な使用料について検討する。
	40604040		38,514,665	1	水道部 下水道課						
	公共下水道運営事業		16,321,435	2	中神 嘉彦						
			81,655,729	3	高い						
			64,384,696	4	高い						
17,271,033	5	普通									
改善の効果		高い									

No	施策名	事務事業の目的	H28決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成29年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成30年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)		
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名								
	事務事業名		H29決算額(円)	2	評価責任者氏名								
			内 直接事業費	3	妥当性評価								
			内 人件費	4	有効性評価								
			内 人件費	5	効率性評価								
50	上下水道の整備	雨水の適正な排除を行うため、雨水ポンプ場及び雨水排水路等の維持管理を行う。	59,477,136	事務事業評価					・施設の老朽化による機器の更新及び改良が必要である。 ・機器の計画的な更新改良により、機器の延命化を図り、施設の機能を維持していく必要がある。 ・降雨時の速やかな対応が必要である。	設備機器の計画的な維持管理を実施し、施設の機能を保持した。	施設の老朽化が進む中、計画的な整備機器の更新改良が必要である。また、設備機器の延命化を図り、施設の機能を維持し、適正な管理に努め、機器の故障等による事故及び浸水による被害を未然に防ぐ。		
	40604060		54,969,132	1	水道部 下水道課							改善の効果	普通
			4,508,004	2	中神 嘉彦								
			37,908,078	3	高い								
			33,523,377	4	高い								
		4,384,701	5	高い									
51	上下水道の整備	生活環境の向上や公共用水域の水質保全を図るため、下水道施設の適正な維持管理を行う。	282,095,285	事務事業評価					恒久的、又は持続的に維持管理していく上で、事業目的を達成するには、多大な経費が必要であり、合わせて施設の劣化は年々進むため、維持管理・修繕にも経費がかかる。	・設備機器の計画的な維持管理を実施し、施設の機能を保持できた。 ・包括的民間委託により、適切に管理された。	包括的民間委託の受注者を適切に管理し、より適正な維持管理ができるように努める。		
	40604070		268,802,316	1	水道部 下水道課							改善の効果	高い
			13,292,969	2	中神 嘉彦								
			319,451,736	3	高い								
			305,003,852	4	高い								
		14,447,884	5	高い									
52	上下水道の整備	農村地域の住環境の整備とともに公共用水域の水質改善を図るため、市内農村地域の生活排水整備を計画的に行う。	310,335,271	事務事業評価					・白谷地区の処理場の機能強化を実施するにあたり、強化方法までの検討が出来た。 ・白谷処理場を囲うフェンスの修繕を行った。	・白谷地区の農業集落排水施設の機能強化を図るため、H30で機能強化工事を行う。 ・六連地区に関しても白谷地区と同じ強化方法の検討を行い、順次工事を行う。 ・今後他地区の機能強化を進めるにあたり必要となる、最適整備構想を2ヶ年に分けて策定していく。			
	40605030		293,849,920	1	水道部 下水道課						改善の効果	高い	
			16,485,351	2	中神 嘉彦								
			22,073,401	3	極めて高い								
			17,612,640	4	極めて高い								
		4,460,761	5	極めて高い									
53	上下水道の整備	事業経営の安定化に向け、農業集落排水の接続を推進すること等により財源の確保を図り、農業集落排水事業の適正かつ健全な管理運営を行う。	59,464,393	事務事業評価					分担金や使用料の賦課徴収、排水設備の確認、決算統計、消費税申告等の経常的な業務を限られた人員で効率的に実施する必要がある。 また、人口減や施設の更新時期到来等に対し適切に対応するため、下水道事業における経営状況の把握が必要となる。	地方公営企業法の適用に向け、地方公営企業法適化支援業務において固定資産調査・評価、下水道台帳整備を進めるとともに、基本方針(案)を策定した。	地方公営企業法の適用により経営内容を明確化し、事業経営の健全性を確保する。 また、接続率の低い地区を中心に接続推進を図るとともに、適正な使用料について検討する。		
	40606030		41,762,261	1	水道部 下水道課							改善の効果	高い
			17,702,132	2	中神 嘉彦								
			39,664,471	3	高い								
			22,122,516	4	高い								
		17,541,955	5	普通									
54	上下水道の整備	農業集落における生活環境の向上や農地及び公共用水域の水質保全を図るため、農業集落排水施設の適正な維持管理を行う。	278,159,017	事務事業評価					一部の農業集落排水区域を公共下水道区域に切り替えることで維持管理費の削減を図った。 維持管理については専門業者に委託し、適切に管理した。 汚泥については、公共下水道やし尿・浄化槽汚泥と合わせ処理方法について検討した。	一部の老朽化した処理施設を公共下水道へ切替え、維持管理費の削減を図る。 汚泥処理については、処理コストの削減や地元負担の軽減を図る。			
	40606040		265,737,604	1	水道部 下水道課						改善の効果	高い	
			12,421,413	2	中神 嘉彦								
			277,128,121	3	高い								
			262,713,355	4	高い								
		14,414,766	5	高い									
55	上下水道の整備	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、未水洗化世帯及び事業所等のし尿の収集を行い、し尿及び浄化槽汚泥の適正な処理を行うとともに施設の適正な維持管理を行う。	62,010,810	事務事業評価					・し尿収集業務は市民生活に不可欠であるため、引き続き円滑に実施していく。 ・施設の老朽化や、し尿等の処理量の減少により安定的な処理が難しい状態となっているため、施設の維持管理及び処理方法を検討する必要がある。	未水洗化世帯の減少により収集世帯等が点在しているが、収集作業を集約し効率化に努めた。また、処理機械・設備等の修繕工事や部品交換等を行い、安定的な処理を行った。	収集世帯の減少と農業等の仮設トイレの増加により点在化が進むことが予想されるが、収集業務の集約化に努める。 共同処理開始に伴う業務体制の検討と、し尿処理施設内のし尿及び浄化槽汚泥の処理、施設の撤去工事等の検討を行う。		
	40607010		25,212,434	1	水道部 下水道課							改善の効果	高い
			36,798,376	2	中神 嘉彦								
			64,526,421	3	極めて高い								
			25,604,897	4	高い								
		38,921,524	5	高い									
56	上下水道の整備	現在のし尿処理施設は、供用開始から約50年が経過しており、老朽化が進み適正な処理ができなくなる恐れがあるため、田原市全体の汚泥処理計画を背景に、し尿・浄化槽汚泥の処理施設を再構築する。	0	事務事業評価					・衛生センターの老朽化が進むなか、し尿・浄化槽汚泥の適正な処理ができなくなる恐れがある。適正で安定的な処理を行うため、早急に新しい処理施設を整備する必要がある。 ・下水道と共同処理について、地元住民の理解を得る必要がある。	・公共下水道へのし尿投入の検討、基本計画の作成を委託した。(30年度繰越) ・地元住民対象に説明会を開催した。	公共下水道の汚水と共同処理するため、受入施設等を整備する。 受入施設の新築に伴い進入道路の拡幅等周辺環境の整備を行う。		
	40607040		0	1	水道部 下水道課							改善の効果	高い
			0	2	中神 嘉彦								
			5,573,800	3	極めて高い								
			4,000,000	4	高い								
		1,573,800	5	高い									

No	施策名	事務事業の目的	H28決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成29年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成30年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名						
	事務事業名		H29決算額(円)	2	評価責任者氏名		3	妥当性評価			
			内 直接事業費	4	有効性評価		5	効率性評価			
			内 人件費								
57	自然環境の保全	市民と協働して地域の里山を保全するとともに、里山の保全に関する知識・技能を習得した人材の育成を図る。	1,630,638	事務事業評価					・「たはら里山の会」による里山保全スキルアップ研修会を毎月開催 ・里山保全活動団体の自立、人材育成が必要である。	スキルアップ研修会の継続開催及び研修内容の充実	「たはら里山の会」の会員減少に歯止めをかけるため、活動時に会のPRし、入会を促す。里山保全活動への支援は継続して行う。
	40701010		609,056	1	都市整備部 街づくり推進課						
	里山保全推進事業		1,021,582	2	小久保 智宏						
			1,795,538	3	高い						
			566,822	4	高い						
	1,228,716	5	普通								
58	自然環境の保全	林道は、森林保全整備のために不可欠な道路であるとともに、昨今は地域住民が散策路として利用するなど地域に必要な道路となっている。しかし、山中の道路は破損等が生じやすいため、常に適正で良好な状態を維持することを目的として、整備や補修を行う。	9,547,670	事務事業評価					林道衣笠線の排水等について整備を進める必要がある。舗装済の部分においては、破損箇所を補修を行う必要がある。	林道衣笠線において、未舗装部分の工事を完了し、衣笠線の全面舗装を完了することによって、利便性の向上を図った。草刈を委託し、林道(衣笠線・芦西浦線)の保全を図ることができた。	林道を保全するため、古い基準で整備された舗装部分を、順次補修していく必要がある。
	40701020		6,699,778	1	産業振興部 農政課						
	林道整備事業		2,847,892	2	鈴木 隆広						
			8,270,047	3	普通						
			6,266,770	4	普通						
	2,003,277	5	普通								
59	自然環境の保全	本市の松林は、潮害防備、風害防備等多面的な機能を担っている。この松林を保全するため、松くい虫防除対策として薬剤空中散布及び伐倒駆除を実施するとともに、薬剤樹幹注入を行い松の抵抗性を高めることで保安林の再生や機能維持を図る。	45,035,827	事務事業評価					保安林の持つ公益的機能を維持し、農村環境のみならず良好な農地の保全を図り、本市の農業を持続的なものとするため、松くい虫防除を継続して実施する必要がある。	国の補助金を最大限に活用し、松枯れの原因となるセンチチュウを媒介する昆虫駆除事業を実施し、保安林の維持を図った。また、被害木の伐倒により、媒介昆虫の駆除に努め、被害拡大を防いだ。	国の補助金を最大限に活用し、既存の事業と併せながら、計画的かつ効果的に防除事業を推進する。被害木を迅速に伐倒処理し、松くい虫による被害の拡大が抑えられるよう努める。
	40701030		40,691,318	1	産業振興部 農政課						
	森林病害虫防除事業		4,344,509	2	鈴木 隆広						
			26,691,449	3	高い						
			23,022,793	4	高い						
	3,668,656	5	高い								
60	自然環境の保全	東三河地域の森林は、田原市のみならず豊川流域市町村の大切な財産である。この財産を流域市町全体で保全することを目的として、東三河農林水産事務所管内の森林振興にかかる諸活動(事業、調査、研修等)を行う。また、松くい虫によって枯死した地域の松林を復元するため、抵抗性松を配布する。	5,800,176	事務事業評価					効果的な保全管理方法を模索するため、森林の植生調査を実施しながら、抵抗性松の植樹を実施し、保安林の再生を図る必要がある。	地元の協力のもと小学校との連携を図り、抵抗性松の植樹を児童の記念植樹として行ない、保安林の復元を図った。	継続的に抵抗性松の確保し、森林の早期復元に努める。松林の植生調査を実施し、健全な森林環境のより効果的な保全管理方法を実施する。
	40701040		2,585,652	1	産業振興部 農政課						
	森林整備促進事業		3,214,524	2	鈴木 隆広						
			4,948,738	3	普通						
			2,481,386	4	普通						
	2,467,352	5	普通								
61	自然環境の保全	動植物の保護及び生息調査を行うことにより、動植物の保全を図る。鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化を図り、もって生物の多様性の確保を図る。特定外来生物を駆除し、その生息域の拡大を防止し、生活環境と生物多様性の保全を図る。	15,156,661	事務事業評価					・アカウミガメの保護団体が行う保護・調査活動の支援。 ・田原市アルゼンチンアリ対策協議会への補助金を交付。(補助率10分の10) ・自治会、地域住民、行政が一体となって一斉防除等を実施し、個体数の低減が図られているが、根絶には至っていない。	・協議会によるアルゼンチンアリの一斉防除を実施し、生活環境被害の低減、生息域の拡大抑制等の効果が確認された。また、生息域の拡大抑制等の効果のあったトラスと従来の防除剤(ベイト剤)での防除を行った。	・アカウミガメの調査・保護活動に対して継続的支援を行う。 ・アルゼンチンアリの生息範囲縮小、根絶に向け、薬剤を他の自治体で非常に効果的であった薬剤に変更する。また生息域内部の防除に加え、生息域外縁部の重点防除を実施する。
	40702010		10,985,899	1	市民環境部 環境政策課						
	動植物保全対策事業		4,170,762	2	寺田 昭一						
			19,881,014	3	高い						
			11,569,325	4	高い						
	8,311,689	5	普通								
62	緑と景観の保全	田原市の優れた景観を資産として生かし、美しい渥美半島を次世代に継承するため、景観施策を実施するとともに、渥美半島菜の花浪漫街道の普及・啓発等を行う。	6,288,396	事務事業評価					・景観施策の周知・普及・啓発を行っており、そのなかで、地域が取り組む景観に配慮したまちづくり活動に対する支援を行っている。 ・渥美半島菜の花浪漫街道事業の普及・啓発を行い、関係者間の景観に対する意識の共有、活動の推進に取り組んでいる。	・地域(福江地区等)が取り組む景観まちづくり活動に対する支援を行い、地域主体の景観形成が図られている。 ・継続して、地域活動への支援及び対象地域の拡充に取り組む。 ・景観行政の方向性について整理を行っていく。	
	40801010		1,188,260	1	都市整備部 街づくり推進課						
	街並景観保全事業		5,100,136	2	小久保 智宏						
			1,909,665	3	高い						
			52,270	4	高い						
	1,857,395	5	普通								
63	緑と景観の保全	市民の緑化への関心を高めるとともに、市民との協働により市内の緑化を推進し、うらおいと活力のあるガーデンシティを目指す。	18,227,262	事務事業評価					・緑化推進委員会を中心とした市民緑花まつり実行委員会が主体となり、市民緑花まつりを開催した。 ・緑化推進委員による花壇コンクール審査を実施 ・沿道花壇の登録は、増加しているが奨励花壇の登録が減少している。	市民緑花まつりを5月4日(みどりの日)にサンテバルクたはらで開催(3年目)し、来場者数が15,000人から16,600人に増加した。 ・春、秋の花苗配布を実施した。	市民緑花まつり実行委員会をイベントの運営主体として組織強化を図る。 ・各校区における奨励花壇管理面積の減少に歯止めをかけるため、新たな管理者の発掘や委託を含めた別手法による花壇管理を模索する。
	40802010		8,751,593	1	都市整備部 街づくり推進課						
	緑化推進事業		9,475,669	2	小久保 智宏						
			21,264,283	3	高い						
			9,382,886	4	高い						
	11,881,397	5	高い								

No	施策名	事務事業の目的	H28決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	平成29年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成30年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1	担当部課名						
	事務事業名		H29決算額(円)	2	評価責任者氏名	3	妥当性評価	4	有効性評価	5	効率性評価
64	緑と景観の保全	緑花センターにおいて奨励花壇、沿道花壇、公共花壇に植える花苗を生産し、うるおいと活力のあるガーデンシティを目指し、花いっぱい運動を展開する。	33,190,763	事務事業評価					・緑化推進、花いっぱい運動の推進拠点として運営体制の改善が必要である。 ・花苗配布をした花壇管理者へのポット鉢及びトレイ返却のさらなる徹底が必要である。	・花苗配布時に返却についての依頼を繰り返したことに伴い、花苗配布によるポット鉢及びトレイの返却が徹底された。	・育苗に関する専門性を高め、花苗の質の向上、育苗コストの削減に取り組む。 ・緑花センターでの生産による花苗の供給体制について、検討する。
	40802020		13,666,228	1	都市整備部 街づくり推進課	2	小久保 智宏				
	緑花センター運営事業		30,079,806	3	高い						
			13,344,647	4	高い						
			16,735,159	5	普通						
65	緑と景観の保全	田原市の将来像である「うるおいと活力のあるガーデンシティ」にふさわしい都市機能の中核をなす運動公園の形成を目指し、市民の余暇活動、スポーツ施設の需要に対するスポーツ、レクリエーション活動の場として整備を図る。	52,680,948	事務事業評価					全体計画面積14.5haのうち多目的グラウンド等暫定利用計画の一部を供用開始したが、将来的に全面供用をする必要がある。	市民参加による緑の森づくりを行った。	一部供用開始をしたことで、一時整備を中断しているが、将来的には全面供用を目指す。また、市民参加による緑の森づくりを継続して進める。関連事業は、公園緑地整備事業で実施。
	40803010		50,806,920	1	都市整備部 街づくり推進課	2	小久保 智宏				
	中央公園整備事業		1,874,028	3	普通						
			2,411,227	4	低い						
			5,043,573	5	低い						
66	緑と景観の保全	市民のレクリエーション活動の場の確保、生活環境の保全、都市の安全性の向上及び良好な都市景観の形成などの観点により公園・緑地の整備を図る。	13,670,788	事務事業評価					サーフタウン構想の動向や地域意見を踏まえ、(仮称)弥八島海浜公園について、整備計画を構築する必要がある。	(仮称)弥八島海浜公園の園内通路の整備を行った。	(仮称)弥八島海浜公園の本格整備について、民間活用を踏まえ、サーフタウン構想の拠点として整備計画を進める。谷ノ口公園等整備事業、中央公園整備事業を統合。
	40803020		9,146,307	1	都市整備部 街づくり推進課	2	小久保 智宏				
	公園緑地整備事業		4,524,481	3	高い						
			28,114,735	4	高い						
			22,128,219	5	高い						
67	緑と景観の保全	太平洋岸総合整備促進事業のモデル事業として、総合計画、表浜自然ふれあいガーデン整備に関する報告書及びええZONEガーデン整備計画に位置づけした拠点の整備促進を図る。また、三河湾国定公園内の豊かな自然の中で快適な野外レクリエーション活動を行える場を提供するとともに都市と農村の交流の場として地域の活性化を図る。	75,933,024	事務事業評価					・公園の主要施設の整備を概ね終え、指定管理者による供用を開始し、1年が経過した。 ・1シーズン供用して顕在化した運用面での課題を順次改善し、運営面での効率性と利用満足度を上げていく必要がある。	・研修棟の建設、園地の碎石敷、園路舗装整備や施設利用促進を図るための貸し出し用鉄板等の作成を行った。 ・管理費や利用状況を踏まえ、野営場の利用料金の追加及びテントの使用料等の料金の改定を行った。	管理費を精査し、指定管理料の見直しを行うとともに、指定管理者による管理運営状況を点検し、管理運営の改善と利用者の増加を図る。関連事業は、公園緑地整備事業で実施。
	40803030		69,643,565	1	都市整備部 街づくり推進課	2	小久保 智宏				
	谷ノ口公園等整備事業		6,289,459	3	高い						
			44,817,925	4	高い						
			41,528,039	5	普通						
68	緑と景観の保全	滝頭公園の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	22,530,846	事務事業評価					利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園にするための維持管理が必要である。	老朽化した設備の修繕、定期的な除草作業等を行い、利用者の利便性を図った。	平成30年度から都市公園事業を統合し、引き続き利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園を目指し、適正な維持管理を行う。
	40804010		20,558,769	1	建設部 維持管理課	2	大谷 勲				
	滝頭公園管理事業		1,972,077	3	高い						
			21,854,593	4	高い						
			20,317,638	5	普通						
69	緑と景観の保全	白谷海浜公園の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	23,243,230	事務事業評価					利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園にするための維持管理が必要である。	公園内の修繕、除草作業を行い、利用者の利便性を図った。	利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園を目指し、適正な維持管理を行う。
	40804020		21,271,153	1	建設部 維持管理課	2	大谷 勲				
	白谷海浜公園管理事業		1,972,077	3	高い						
			22,330,431	4	高い						
			20,793,476	5	普通						
70	緑と景観の保全	緑が浜公園及び緑が浜2号緑地の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	11,870,088	事務事業評価					利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園にするための維持管理が必要である。	公園内施設の修繕、剪定等を行い利用者の利便性を図った。	利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園を目指し、適正な維持管理を行う。
	40804030		10,328,575	1	建設部 維持管理課	2	大谷 勲				
	緑が浜公園管理事業		1,541,513	3	高い						
			11,526,868	4	高い						
			10,133,446	5	普通						
		1,393,422									

No	施策名	事務事業の目的	H28決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成29年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成30年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名				
	事務事業名		H29決算額(円)	事務事業評価				
			内 直接事業費	4 有効性評価				
			内 人件費	5 効率性評価				
71	緑と景観の保全	中央公園(一部供用開始された施設)内の樹木管理、除草、排水施設の適正管理を図ることにより、利用者が安全で安心して利用できるように施設管理を行う。	1,441,370	事務事業評価		利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園にするための維持管理が必要である。	公園内の除草を定期的に行い、利用者が安心して利用することができた。	平成30年度から都市公園事業を統合し、引き続き利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園を目指し、適正な維持管理を行う。
	40804040		677,521	1 建設部 維持管理課				
	中央公園管理事業		763,849	2 大谷 勲				
	1,067,808		3 高い					
	299,331		4 高い					
			768,477	5 普通				
	改善の効果	普通						
72	緑と景観の保全	公園、緑地、緑道等について、樹木の管理、除草、トイレ清掃等を行い、利用者が安全で安心して利用できる施設管理を行う。	72,445,357	事務事業評価		利用者が安心・安全で楽しく利用でき、また景観を損ねない公園、緑地・緑道となるような、維持管理が必要である。	定期的な除草、剪定、トイレ清掃等を行い、利用者が安心して利用することができた。	利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園・緑地・緑道を目指し、適正な維持管理を行うとともに老朽化した公園施設の維持補修を行う。
	40804050		45,557,925	1 建設部 維持管理課				
	都市公園等管理事業		26,887,432	2 大谷 勲				
	63,555,368		3 高い					
	41,753,990		4 高い					
			21,801,378	5 普通				
	改善の効果	高い						
73	緑と景観の保全	初立池公園は、豊川用水の最終調整池を含む自然豊かな公園であり、市民の余暇活動等の推進を図る施設として、安全で楽しく利用できるよう適正な管理を行う。	14,097,666	事務事業評価		知名度が低い、比較的、来園者数が少ない。しょうぶ園に防草シートの部分が残っている等、景観として未完成である。	ホームページでしょうぶ園の開花状況の随時配信を行い、PRに努めた。しょうぶ園の竹柵、通路の整備を行い、改善に努めた。	今後も竹柵等の整備を進め、景観として完成させる。
	40804060		10,472,697	1 渥美支所 地域課				
	初立池公園管理事業		3,624,969	2 永井 守彦				
	12,004,991		3 高い					
	7,443,090		4 高い					
			4,561,901	5 普通				
	改善の効果	普通						
74	緑と景観の保全	臨海緑地の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	34,541,748	事務事業評価		緑地としての機能を保持するため、継続的な維持管理が必要である。	定期的に緑地内の除草、消毒等を実施した。	公害防止としての緩衝緑地の目的だけでなく、安心・安全で心にゆとりを与えるような緑地となるように、維持管理を行う。
	40804070		33,000,235	1 建設部 維持管理課				
	臨海緑地管理事業		1,541,513	2 大谷 勲				
	34,393,621		3 高い					
	33,000,199		4 高い					
			1,393,422	5 普通				
	改善の効果	普通						
75	緑と景観の保全	公園、緑地、緑道等について、樹木の管理、除草、トイレ清掃等を行い、利用者が安全で安心して利用できる施設管理を行う。	13,063,051	事務事業評価		施設が老朽化しているため、来園者に危険の無いよう適切に維持管理していく必要がある。多くの部分で現場の嘱託員、臨時職員任せになっているため、職員による指導が行き届かず、非効率な部分がある。	嘱託員、臨時職員に対し、例年通りの作業だけではなく、何年も行ってこなかった場所の作業を積極的に行うよう指示した。業務終了時のミーティングでその日の反省、明日の予定を確認し、効率的な作業計画をたて、適切な維持管理を行った。	公園の利用者が安心安全で快適に利用できるように施設の老朽化状況を把握し、適切な維持管理を行う。
	40804080		2,998,589	1 渥美支所 地域課				
	都市公園等管理事業 (渥美支所)		10,064,462	2 永井 守彦				
	14,181,770		3 高い					
	2,398,607		4 高い					
			11,783,163	5 普通				
	改善の効果	普通						
76	緑と景観の保全	児童に身近で安全な遊びの場を提供し、健康の増進や豊かな情操を養うとともに、乳幼児を持つ保護者相互の交流の場づくり(孤立化防止)として、児童遊園の適正な維持管理を行う。	3,439,351	事務事業評価		安全第一の観点により危険度の高い遊具から優先的に修繕、撤去を実施するとともに、地域との協働による地域管理委託を継続して管理コストの抑制に努める。	経年劣化した高松児童遊園のフェンスを撤去新設、危険度の高い遊具の修繕等、遊園利用における児童の安全確保を図ることができた。	安全第一の観点により危険度の高い遊具から優先的に修繕、撤去を実施するとともに、撤去により児童遊園として必要となる新規遊具の設置を検討する。
	40804090		1,439,642	1 健康福祉部 子育て支援課				
	児童遊園管理事業		1,999,709	2 河口 浩				
	1,907,642		3 普通					
	907,731		4 普通					
			999,911	5 普通				
	改善の効果	普通						
77	緑と景観の保全	谷ノ口公園の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	0	事務事業評価		利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園にするための維持管理が必要である。	公園内の除草、剪定等を行い、利用者の利便性を図った。	利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園を目指し、適正な維持管理を行う。
	40804100		0	1 建設部 維持管理課				
	谷ノ口公園管理事業		0	2 大谷 勲				
	7,517,391		3 高い					
	6,748,914		4 高い					
			768,477	5 普通				
	改善の効果	高い						